

HOTELS

2024 REPORT

～令和6年上半期の業況～



東京三協信用金庫

お客様と共に歩んで100年 これからも共に歩む「未来」

ごあいさつ

平素より東京三協信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、令和6年9月末における経営内容や当金庫の活動等について報告するため「2024REPORT」を作成いたしました。ぜひ、本誌をご高覧いただきますようお願い申し上げます。

日本経済は、コロナ禍からの本格的な再開、インバウンド消費の回復等により、大企業を中心に景況感は改善し、日経平均株価の史上最高値更新や日本銀行による政策金利の引き上げ等、デフレ経済からの脱却の兆しを見せています。しかしながら、中小零細企業では、人手不足や賃上げ対応、コスト上昇に対する価格転嫁の問題等、引き続き厳しい経営環境にあります。

こうした経済・社会の変化とともに多様化する状況のなかで、様々なニーズに応え、親身に寄り添った活動をしていくことが、私たち地域金融機関の使命であり、金融・非金融サービスを通じて共に課題を解決できるよう、役職員が一丸となり尽力してまいります。

東京三協信用金庫 理事長 **中島 久喜**



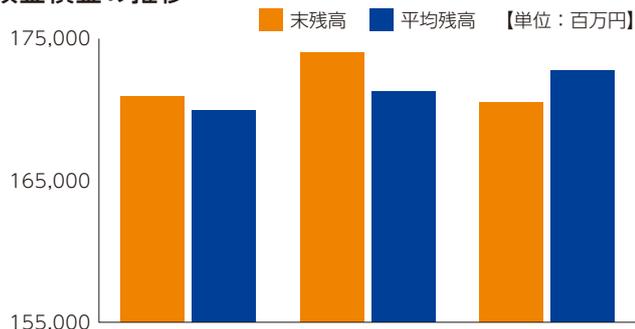
令和6年9月事業の概況

預金積金・貸出金の状況

預金積金残高は、「さんきょう拡充倶楽部定期積金」等の預金商品を多くのお客様にご契約いただきましたが、お預け入れいただいていた大口預金が解約となった影響等により、前期末から34億円の減少となりました。

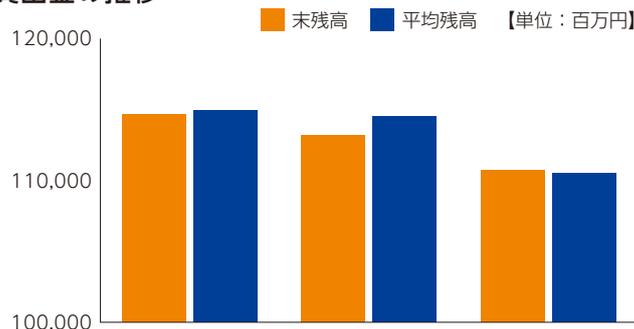
貸出金は、厳しい経済情勢の影響を受けられている事業者の皆さまへの支援を強化するとともに、「課題解決」や「事業性評価融資」の実践等により、様々な資金需要に対応いたしました。経済活動の回復から順調に返済が進んだことや不動産価格の上昇に伴う不動産売却による大口融資の返済等の影響により、前期末から24億円の減少となりました。

預金積金の推移



	令和5年9月末	令和6年3月末	令和6年9月末
残高	170,929	173,988	170,522
平均残高	169,933	171,273	172,780

貸出金の推移



	令和5年9月末	令和6年3月末	令和6年9月末
残高	114,639	113,166	110,717
平均残高	114,963	114,505	110,532



貸出金の業種別構成比率

【単位：百万円】

業種	令和6年3月末		令和6年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	1,272	1.1%	1,026	0.9%
農業、林業	1	0.0%	1	0.0%
建設業	7,883	6.9%	8,163	7.3%
情報通信業	462	0.4%	456	0.4%
運輸業、郵便業	1,011	0.8%	1,169	1.0%
卸売業、小売業	4,442	3.9%	4,341	3.9%
金融業、保険業	595	0.5%	1,206	1.0%
不動産業	71,949	63.5%	69,656	62.9%
物品賃貸業	20	0.0%	20	0.0%
学術研究、専門・技術サービス業	1,826	1.6%	1,765	1.5%
宿泊業	4,134	3.6%	3,937	3.5%
飲食業	2,472	2.1%	2,319	2.0%
生活関連サービス業、娯楽業	1,198	1.0%	1,028	0.9%
教育、学習支援業	478	0.4%	470	0.4%
医療、福祉	1,430	1.2%	1,501	1.3%
その他のサービス業	2,174	1.9%	2,039	1.8%
小計	101,355	89.5%	99,107	89.5%
個人	11,811	10.4%	11,608	10.4%
合計	113,166	100%	110,717	100%

■ 損益の状況

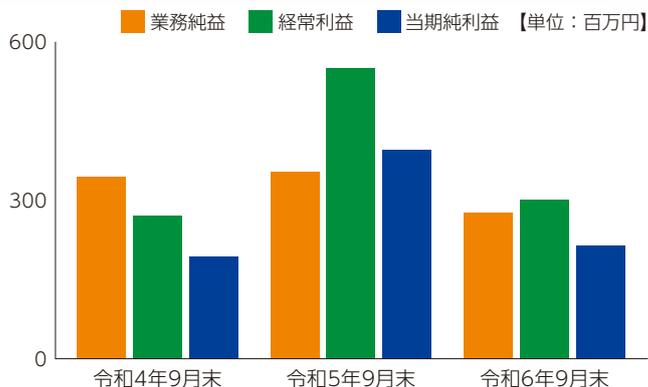
資金運用収益や役員取引等収益といった本業での収益は増加しましたが、本店ビル建設に伴う経費の増加や預金金利引き上げによる預金利息の増加等により業務費用が増加し、業務純益は125百万円の減益となりました。

また、昨年度計上しました貸倒引当金の戻入益や有価証券売却益の剥落等により、経常利益は248百万円の減益、当期純利益は180百万円の減益となりました。

損益の推移

【単位：百万円】

科 目	令和4年9月末	令和5年9月末	令和6年9月末
業務純益	345	353	227
実質業務純益	328	353	227
コア業務純益	353	372	227
コア業務純益(除く投資信託解約益)	328	372	227
経常利益	271	550	301
当期純利益	194	396	215



(注) 1. 業務純益=業務収益-(業務費用-金銭の信託運用見合費用)

業務費用には、例えば人件費のうちの役員賞与等のような臨時的な経費等を含まないこととしています。

また、貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額(または取崩額)を含みます。

2. 実質業務純益=業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。

3. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

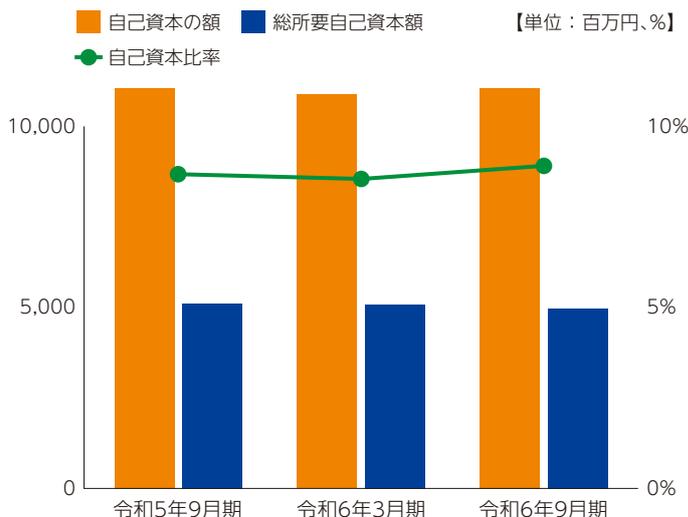
国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

■ 自己資本比率の状況

令和6年9月期の自己資本比率は、利益の積み上げによる自己資本額の増加等により、前期末から0.36pt上昇し8.91%となりました。国内基準である4%の2倍以上を確保しており、健全性は十分に保たれています。

【単位：百万円】

項 目	令和5年9月期	令和6年3月期	令和6年9月期
自己資本の額(a)-(b)=(c)	11,064	10,871	11,067
コア資本に係る基礎項目の額(a)	11,099	10,958	11,145
コア資本に係る調整項目の額(b)	35	86	78
リスク・アセット等の額の合計額(d)	127,345	127,040	124,103
自己資本比率(c)/(d)	8.68%	8.55%	8.91%
総所要自己資本額(d)×4%	5,093	5,081	4,964



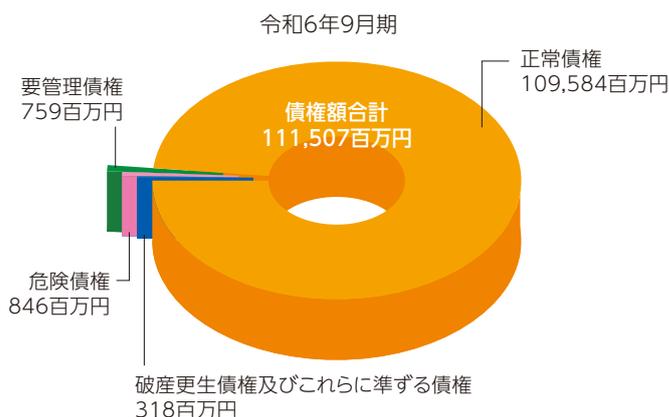
■ 不良債権の状況

金融再生法の開示債権(いわゆる不良債権)に対し、担保や保証等による回収見込額及び貸倒引当金により84.50%が保全されています。また、保全されていない債権についても、特別積立金等により十分にカバーされています。

金融再生法開示債権額

【単位：百万円】

区 分	令和6年3月期		令和6年9月期	
	債権額	保全率	債権額	保全率
金融再生法上の不良債権(A)	2,349	86.17%	1,923	84.50%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	551	100.00%	318	100.00%
危険債権	1,004	94.73%	846	94.06%
要管理債権	793	65.73%	759	67.35%
正常債権	111,670		109,584	
債権額合計(B)	114,019		111,507	
不良債権比率(A)/(B)	2.06%		1.72%	



創立100周年に向けて

東京三協信用金庫は、令和7年10月12日に創立100周年を迎えます

関東大震災から2年後の大正14年(1925年)10月12日、現在の東京都新宿区域にあたる東京府豊多摩郡戸塚町に「有限責任戸塚町信用組合」を設立し、当金庫の歴史が始まりました。その後、昭和24年1月に、戸塚町信用組合・東京建築信用購買利用組合・共隆信用購買利用組合が合併し「東京三協信用組合」を設立、昭和26年10月の信用金庫法施行に伴い「東京三協信用金庫」に改組しました。

設立以来、社会情勢、金融情勢には様々な変化がありましたが、創立100周年を迎えることができますのも、ひとえに、地域の皆さまからのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。



創立100周年を迎えるにあたり、『お客様と共に歩んで100年 これからも共に歩む「未来」』をキャッチフレーズとして掲げています。また、当金庫のロゴマーク、コーポレートカラーをベースとし、これからの時代を「お客様・地域とともに未来に向かって力強く歩む」ことをイメージした記念ロゴマークを作成しました。今後も、地域社会と寄り添い、共に「未来」へ進んでいけるよう、尽力してまいります。

■ 営業店開設記念

営業店では、令和6年5月に高井戸支店が60周年、10月に調布支店が55周年、西落合支店が35周年を迎え、各店にて記念イベント等を開催しました。



高井戸支店 開設記念日



■ 記念商品の取扱開始

地域の皆さまへ日頃のご愛顧に感謝し、「創立100周年記念 変動金利定期預金With You」の取り扱いを開始しました。

本商品は、金利の上昇が予想されているなか、少しでも安心してお預け入れができますよう店頭表示金利に0.150%を上乘せした変動金利型定期預金となっています。

2024 TOPICs

■ 第100期通常総代会

令和6年6月19日にハイアットリージェンシー東京にて第100期通常総代会を開催し、報告・付議された事項はすべて原案通り承認されました。



■ 信用金庫の日 「お客様サービスデー」

昭和26年6月15日に信用金庫が公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定めています。当金庫では、来店いただいたお客様へ、心ばかりのプレゼントをお配りしました。



信用金庫の日 店頭の様子(池袋支店)

■ 令和6年度新入職員

令和6年4月、新入職員が入庫し、本部での研修後、営業店にて業務に従事しています。お客様のお役に立てますよう、日々尽力してまいります。



入庫研修の様子

お客様支援・地域支援について

■ 三協会

三協会は、昭和41年に新宿支店のお客様を中心に発足し、以降全営業店で組織されました。地域交流の活性化、取引先企業の繁栄、会員相互の親睦を目的とし、各三協会独自の親睦旅行、勉強会、交流会等を実施しています。

また、当金庫は、地域の皆さまとの“つながり”や“ふれあい”を大切にしており、各営業店近隣地域の祭礼や伝統行事、イベント等に役職員が参加し、地域社会の活性化、地域文化の発展のお手伝いをしています。また、地域交流の一環として、営業店主催の勉強会や懇親会等を開催しています。



■ 金融教育・職場体験

本店及び早稲田支店にて、地元中学生の職業体験に協力し、社会人としてのマナーや信用金庫の業務等についての研修、通帳の作成体験等を行いました。

また、東京富士大学にて、当金庫職員が講師となり、信用金庫や金融についての講義を行いました。今後も、地域の金融教育への取り組みを継続していきます。

■ ビジネスクラブさんきょう(BCS)

昭和63年に発足したビジネスクラブさんきょう(発足当時の名称「SBLC」)は、法人代表者および個人事業主の皆さまを中心に組織され、ビジネスマッチング、会員相互の事業の発展を目指し、ネットワークを広げるための活動を実施しています。

■ 東京都よろず支援拠点 相談会・勉強会

東京都よろず支援拠点は、国が都道府県に設置する中小企業者向けの相談窓口であり、経営課題全般について専門的な助言を「無料で」「何度でも」利用できることが特色となっています。当金庫営業店にて、オンライン相談会及び出張相談会の実施、東京都よろず支援拠点のコーディネーターを講師に招いての勉強会等を開催しています。



■ 支援機関・提携先企業・専門機関等との連携

当金庫は、支援機関・提携先企業・専門機関・専門家等と連携を図り、お客様の課題解決に向けた支援を行っています。



創業・起業の支援

地域での創業・起業について、連携支援機関、民間シェアオフィス、東京富士大学、外部専門家等と連携し、各々の強みを活かしたワンストップでの支援を行っています。

連携支援機関等 | ・東京都よろず支援拠点 ・東京都中小企業振興公社 ・中小企業基盤整備機構 ・東京商工会議所 ・(株)日本政策金融公庫



人材確保の支援

従業員の確保や福利厚生の充実について、支援機関、提携先企業と連携し支援を行っています。

また、当金庫と職域サポート契約を締結いただいている事業所の従業員様向けに、優遇商品(金利優遇住宅ローン等)を充実させ、福利厚生面における事業支援を行っています。

連携支援機関等 | ・東京都よろず支援拠点 ・東京都中小企業振興公社

提携先企業 | ・ミイダス(株) ・(株)マイナビ



助成金・補助金自動診断サービス

煩雑な助成金・補助金の申請手続等の支援として、提携先企業と連携し、「情報提供」から「申請手続」まで対応することができる「Jシステム」を取り扱っています。

提携先企業 | ・(株)ライトアップ



業務用設備の導入・リース活用等の支援

初期投資を抑えた業務用設備の導入やリース活用について、提携先企業等と連携し支援を行っています。

提携先企業等 | ・(株)NEXYZ. ・しんきんリース(株)



所有不動産有効活用の支援

所有されている不動産の空室対策や建物の老朽化対策、相続対策などの不動産のご活用について、提携先企業と連携し、各社の特性を活かした様々な支援を行っています。

提携先企業

■建設・リフォーム

- ・大成ユーレック(株)
- ・大成建設ハウジング(株)
- ・大和ハウス工業(株)
- ・ミサワホーム(株)
- ・積水ハウス(株)
- ・三菱地所ホーム(株)
- ・パナソニックホームズ(株)

■不動産管理

- ・(株)マルイホームサービス
- ・東急住宅リース(株)
- 不動産売買
- ・野村不動産ソリューションズ(株)
- ・大成有楽不動産販売(株)
- ・ミサワホーム不動産(株)
- ・大和ハウスリアルエステート(株)

■コンビニエンスストア

- ・(株)セブン-イレブン・ジャパン
- ・(株)ファミリーマート
- ・(株)ローソン



事業承継の支援

後継者への事業引継ぎ、後継者対策等について、支援機関、提携先企業と連携して支援を行っています。当金庫を通じて、提携先企業等に相談をすることで、お客様の課題等の整理や具体的な対応策について助言を受けられます。

連携支援機関等

- ・東京都中小企業振興公社
- ・東京都よろず支援拠点
- ・T²BASE多摩・島しょ経営支援拠点
- ・東京都事業引継ぎ支援センター
- ・ビジネスサポートデスク東京西
- ・中小企業基盤整備機構
- ・東京都「地域金融機関による事業承継促進事業」

提携先企業等

- ・税理士事務所クオリス
- ・信金キャピタル(株)

さんきょう
100th
Anniversary

お客様と共に歩んで100年
これからも共に歩む「未来」

本 部	〒169-0075	新宿区高田馬場 2-17-3	03-3200-7124(代)	東伏見支店	〒202-0014	西東京市富士町 2-11-12	042-462-1555
本 店	〒169-0075	新宿区高田馬場 2-17-3	03-3200-7121	府 中 支 店	〒183-0015	府中市清水が丘 3-26-15	042-365-8111
(下落合ATMコーナー)	〒161-0033	新宿区下落合 1-16-7	連絡先 (本店 03-3200-7121)	保 谷 支 店	〒202-0011	西東京市泉町 2-14-19	042-423-1911
新 宿 支 店	〒160-0022	新宿区新宿 2-18-3	03-3356-6711	早 稲 田 支 店	〒169-0051	新宿区西早稲田 1-9-18	03-3204-2211
井 荻 駅 前 支 店	〒167-0023	杉並区上井草 1-24-2	03-3390-4111	鷺 宮 支 店	〒165-0031	中野区上鷺宮 1-4-2	03-3999-2011
高 井 戸 支 店	〒168-0072	杉並区高井戸東 4-8-18	03-3333-8811	西 落 合 支 店	〒161-0031	新宿区西落合 2-10-1	03-5996-2711
調 布 支 店 [*]	〒182-0026	調布市小島町 1-31-3	042-483-6511	池 袋 支 店	〒171-0021	豊島区西池袋 5-4-6	03-3984-3551

※調布支店は、11:30より12:30まで窓口を休止しています。

ホームページアドレス：<https://www.shinkin.co.jp/sankyo>

お客様相談センター：**☎0120-0889-18** (受付 9:00~17:00金融機関休業日は除く)